

平成30年度

事業報告書
決算報告書

自 2018年 4月 1日

至 2019年 3月31日

2019年6月4日

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

事業報告

循環型社会の構築を目指し、行政・消費者・産業界が緊密な連携のもとに3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）活動を推進することを目的として、2018年度（平成30年度）は以下の事業を実施した。

1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の実施

3Rに率先して取り組み、顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施した。

1月中旬に推薦要領を協議会会員団体、全国の都道府県、政令指定都市、中核市、特別区、建設副産物対策地方連絡協議会に配付し募集を行った結果、87件の応募があった。

推薦案件について審査委員会（委員長 東京大学名誉教授 木村文彦氏 他13名）において厳正な審査を行った結果、内閣総理大臣賞2件（分野毎に1件）、文部科学大臣賞1件、経済産業大臣賞2件、国土交通大臣賞5件、環境大臣賞1件、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞33件、計44件を表彰するとの結論に至り、10月30日（火）、東京・竹橋のKKRホテル東京において表彰式を挙行了た。

表彰式には、109名（報道機関14名を含む）の出席があった。



内閣総理大臣賞の授与



内閣総理大臣賞受賞者による活動紹介



表彰式の様子

(1) 受賞者

2018年度(平成30年度)の受賞者は次のとおり。

内閣総理大臣賞(2件)

「個人・グループ・学校」分野(1件)

三重県立相可高等学校生産経済科

「事業所・地方公共団体等」分野(1件)

株式会社グリーンメッセージ

キューピー株式会社

(2者連名)

文部科学大臣賞(1件)

「個人・グループ・学校」分野(1件)

横浜町立横浜中学校

経済産業大臣賞(2件)

「事業所・地方公共団体等」分野(2件)

株式会社リプロ

株式会社日立産機中条エンジニアリング

東京エコリサイクル株式会社

(2者連名)

国土交通大臣賞(5件)

「事業所・地方公共団体等」分野(5件)

株式会社竹中工務店 東京本店 安全環境部

株式会社竹中工務店 九州支店 イオンモール熊本増床活性化工事

戸田建設株式会社 札幌支店 函館国際ホテル耐震補強・建替工事

株式会社熊谷組 関西支店 (仮称) グランドメゾン夙川千歳町新築工事

積水ハウス株式会社 大阪マンション事業部

(2者連名)

秋葉建設興業株式会社 阿賀野バイパス17工区改良その15工事 秋葉建設興業株式会社 小里作業所

環境大臣賞(1件)

「個人・グループ・学校」分野(1件)

サンコーボ勝田台自治会

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞（33件）

福山市立網引小学校
諫早市立小野中学校生徒会
社会福祉法人北九州市戸畑民生事業協会 中原保育園
ブリヂストンBRM株式会社
株式会社ニコンテック 株式会社ニコン (2者連名)
富士ゼロックス株式会社
日立建機株式会社
日本繊維板工業会
株式会社竹中工務店 東京本店 江東区立(仮称)第二有明小・中学校新築工事業所
株式会社竹中工務店 東京本店 国分寺駅北口第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事業所
株式会社竹中工務店 東京本店 安全環境部 東京竹和会産廃処理分科会 (2者連名)
株式会社竹中工務店 名古屋支店 (仮称)錦二丁目計画作業所
株式会社竹中工務店 大阪本店 (仮称)大阪市中央区北浜二丁目計画新築工事
株式会社鴻池組 鳥取西道路気高第2トンネル工事
松井建設株式会社 東京支店 (仮称)特別養護老人ホーム杉並区宮前園新築工事
戸田建設株式会社 新名神高速道路 箕面インターチェンジ中工事業所
東洋建設株式会社 関東建築支店 ロジスクエア春日部倉庫新築工事
新日鐵住金株式会社 君津製鐵所 資源化推進部 東亜建設工業株式会社 千葉支店 君津市 千葉県漁業協同組合連合会 (4者連名)
西松建設株式会社 関東土木支社 湯船原工事事務所 新東名高速道路 湯船原トンネル工事
西松・浅沼建設共同企業体 和泉建築出張所
西松建設株式会社 関東建築支社 大井南再開発工事事務所
西松建設株式会社 いわき工事事務所
西松建設株式会社 九州支社 宇土作業所
五洋建設株式会社 名古屋支店 新名神高速道路四日市中工事 工事事務所
三井住友建設株式会社 (仮称)八王子計画新築工事
三井住友建設株式会社 中部支店 鷺見橋作業所
株式会社長谷工コーポレーション (仮称)フージャースケアデザインちはら台新築工事
株式会社長谷工コーポレーション (仮称)プレミスト日本橋浜町新築工事
株式会社鴻池組 大阪本店 (仮称)グランドメゾン内久宝寺町2丁目タワー計画に伴う解体工事
北九州市立鳴水市民センター

むつ・下北地区レクリエーション協会
株式会社北陸ジオテック
株式会社竹中工務店 エンジニアリング本部 株式会社アサヒファシリティズ 名古屋センタービル事業所 (2者連名)

(2) 表彰結果の広報

受賞者の受賞した活動の概要をまとめた「平成30年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰結果発表」冊子を1,000部作成し、426部を審査結果解禁日(10月27日)に合わせて関係省庁の記者クラブに、200部を表彰式会場で受賞者等にそれぞれ配付した。

また、協議会会員、推薦機関に1部ずつ(合計217部)配付した。

(3) 次年度に向けた対応

表彰件数は減少傾向にあり、推薦募集件数の増加のための方策については、審査委員会において継続的に審議している。賞に値する取組にも関わらず応募されていない取組がまだあると考えられるので、これらの取組が推薦されるよう方策を検討している。

また、平成29年度第3回審査委員会(2017年11月28日)における意見を受けて、企画運営委員会においても募集拡大の検討を行っている。

2019年度の募集に向けて、特に応募の拡大を図りたい中小企業の推薦を個別にお願いした。また、表彰制度の認知を高めるため、2018年度はA4版ちらしで作成していた募集広告をA2版ポスターに変更し、二次元バーコードによる案内の導線を簡単にするなど努めた。

(4) スケジュール

応募がしやすいように募集の期間を長くするため、前年度から募集を開始した。

<2018年度(平成30年度)の主な実績>

(2018年(平成30年))

1月22日	推薦募集開始(推薦機関への案内、ホームページ等で紹介)
1月31日	各省後援・大臣賞交付申請
4月20日	推薦募集締切り
5月~8月	審査(書面審査、審査委員会)
10月30日	表彰式
12月4日	次年度に向けての検討(審査委員会)

(2019年(平成31年))

1月21日	次年度推薦募集開始
1月31日	次年度各省後援・大臣賞交付申請

2. リデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークの普及・利用促進

企業・地方自治体・市民団体・業界団体・学校等の要請に応じて、3R実践活動や啓発・教育活動の場でリデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークを広く使用してもらうことにより、3Rに対する意識の醸成や啓発を図った。

具体的には3R推進功労者等表彰などの場を活用して、3Rに積極的に取り組む企業・グループ・団体等に対して3Rキャンペーンマークの利用を勧め、3R推進のアイコンとしての認知度向上を図ると共に、人々の目に触れる機会を増やして3Rに対する意識の定着を図った。

企業では、過去に使用した建設会社や教科書出版社が更新のタイミングで再申請していただけるケースも出てきており、一部においてはマークが定着していると考えられる。

昨年8月には、(一社)産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センターと合同で、全国1,789の市区町村の3R・循環型社会推進ご担当者宛に、キャンペーンマーク紹介及び功労者等表彰の紹介のリーフレットを送付した。この取組は2016年度(平成28年度)から始めて、今回で3回目となるが、以前に比べて自治体の使用例が増えた。



3Rキャンペーン
マーク紹介のちらし

3. 活動強化策の実施

協議会活動を充実させるべく、活動強化策を継続している。内容については、企画運営委員会で審議の上で実施した。

1) 企画運営委員会

前年度に引き続き、協議会活動を充実させるべく活動強化策の具体的な内容の検討や意見交換を行った。

(活動強化策実施予算) 100万円

<実績>

第1回企画運営委員会	2018年6月26日	於：経済産業省別館	108会議室
第2回企画運営委員会	2018年10月5日	於：経済産業省別館	231会議室
第3回企画運営委員会	2018年12月18日	於：経済産業省別館	101-2会議室
第4回企画運営委員会	2019年4月9日	於：経済産業省別館	236会議室

<平成 29・30 年度（2017・2018 年度）企画運営委員>

（委員長）

中村 直 一般財団法人エンジニアリング協会 研究理事（2019 年 3 月まで）

（副委員長）

大石美奈子 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
代表理事・副会長

（委員）

門脇 琢哉 一般財団法人エンジニアリング協会 企画渉外部長（2019 年 4 月から）

加藤 聡 ガラス再資源化協議会 代表幹事

田中 希幸 ガラスびん 3 R 促進協議会 事務局長（2018 年 4 月から）

幸 智道 ガラスびん 3 R 促進協議会 事務局長（2018 年 3 月まで）

新妻 弘章 建設副産物リサイクル広報推進会議

中田 良平 スチール缶リサイクル協会 専務理事

細川 浩之 一般社団法人セメント協会 生産・環境部門リーダー

小川 喜弘 電気事業連合会 立地環境部長

深野 行義 一般社団法人日本ガス協会 環境部長（2018 年 4 月から）

前田 泰史 一般社団法人日本ガス協会 環境部長（2018 年 3 月まで）

天川 紀子 一般社団法人日本建設業連合会 次長

羽富 修 一般社団法人日本産業機械工業会 環境装置部長（2019 年 1 月から）

村田 利明 一般社団法人日本産業機械工業会 環境装置部長（2018 年 12 月まで）

目黒 雅也 一般社団法人日本自動車工業会 環境統括部長

筒井 将年 一般社団法人日本自動車部品工業会 技術部部長

長谷川賢司 日本繊維板工業会 専務理事（2019 年 3 月まで）

國澤 典生 一般社団法人日本道路建設業協会 常務理事

平田 成 公益社団法人日本包装技術協会 包装材料研究室長

富田 斉 一般社団法人プラスチック循環利用協会 広報学習支援部長

また、3 R に関する 7 省庁のご担当者にごアドバイザーとしてご指導いただいた。

（国税庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）

2) 3R連絡会

行政、会員団体等に情報を提供いただき、業種などを越えた広範な3R動向の把握、交流を図った(年2回開催)。当連絡会は、会員団体及びその会員企業等、関係省庁に参加を限定し、できるだけ多く参加いただける共通の話題をテーマにした。

(第1回) 2018年10月5日開催

- ・「第五次環境基本計画について」環境省
- ・「第四次循環型社会形成推進基本計画について」環境省

(第2回) 2019年2月1日開催 ※3R活動推進フォーラムとの共催セミナー

- ・「グローバルゼーションと循環経済ビジネスの展望」慶応義塾大学 細田 衛士 教授
- ・「資源循環政策の動向」環境省
- ・「農林水産業・食品産業におけるプラスチック資源循環の取組の促進」農林水産省
- ・「「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス」の取組/循環経済ビジョンについて」経済産業省
- ・「経済の変革とプラットフォームビジネス戦略的ツール」東京大学大学院 梅田 靖 教授
- ・「プラスチック資源循環戦略と産業界の動向」プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

当日使用された資料は、協議会ホームページに掲載した。

(URL) http://www.3r-suishinkyogikai.jp/seminar/3r_meeting/
<http://www.3r-suishinkyogikai.jp/seminar/joint/> (共催セミナー)

3) 優秀3R推進活動発表会

2017年度(平成29年度)の3R推進功労者等表彰の大臣賞受賞者に、受賞の取組や受賞後の発展について発表していただき、行政所管、産業分野を越えて広く共有化、普及啓発を図った。当発表会は、会員団体及びその会員企業等、関係省庁に限定して受賞者の取組をご紹介いただいている。

開催：2018年6月5日(平成29年度(2018年度)総会後に開催)

内容：

- ・「飲料容器自動回収機(RVM)を用いたスーパー店頭におけるペットボトルの効率回収と国内循環への貢献」トムラ・ジャパン株式会社(経済産業大臣賞受賞者)
- ・「使用済み自動車における3Rの取り組み」飛田テック株式会社(環境大臣賞受賞者)
- ・「容易に撤去が出来るリサイクル100%の展示場の建設」清水建設株式会社 東京ビックサイト東側仮設展示場の建設事業(内閣総理大臣賞受賞者)

当日使用された資料は、協議会ホームページに掲載した。

(URL) http://www.3r-suishinkyogikai.jp/seminar/winners/winners_h30/

4) 3R推進ポスターの制作・配布

工場、工事現場、オフィス、流通などのビジネス現場や公共の場において事業者による3R活動の推進を訴求する「3R推進ポスター」を制作し、10月の3R推進月間に合わせて会員団体、配布した。

ポスターのデザインは、協議会主催によるデザインコンテストで公募し、その最優秀賞作品を使用した。3Rに馴染みのない人たちからも応募があるため、募集に際しては3Rを簡単に紹介したリーフレット『3Rって何だろう?』を案内に同封するとともに、協議会ホームページでも公開して、3Rを正しく理解してもらえるように努め、啓発の機会とした。

<デザインコンテスト概要>

デザイン募集期間： 2018年2月1日～6月8日

応募作品数： 319点

選考日時： 2018年7月4日

選考メンバー： 企画運営委員、関係省庁ご担当者、福田秀之氏（アートディレクター）

選考結果： 最優秀賞 1点（石澤 修一 氏（東京都 グラフィックデザイナー））、
佳作 20点

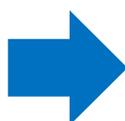
ポスター印刷枚数： 1,200部（A1サイズ）

印刷したポスターは、会員団体、関係省庁、主な地方公共団体の3R関連部署などに配付した。

また、「消費者教育推進フォーラム in 神奈川」の会場にポスターを掲示いただいたり、「全国生涯学習・社会教育主管部課長会議」においてポスターを配付いただいたりと、3Rの啓発活動のツールとしてご利用いただいた。



最優秀賞受賞作品



3R推進ポスター

受賞作品、3R推進ポスターについては、協議会ホームページで公開している。

(URL) <http://www.3r-suishinkyogikai.jp/poster/pastaward/>

当ポスターは過去のものも含めて協議会のホームページ上に公開しており、誰もが自由にダウンロードして利用可能としている。

(URL) <http://www.3r-suishinkyogikai.jp/poster/guide/>

5) 3R関連の機関や団体等との協業

3R関連の機関や団体との協業を積極的に行い、より広範な3Rの情報提供に努めた。

<後援（日付は許諾日）>

- ・「実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境学習に取り組む小・中学生への支援事業」（スチール缶リサイクル協会、4月13日）
- ・「2018 建設リサイクルシンポジウム」（建設副産物リサイクル広報推進会議、5月28日）
- ・「第13回容器包装3R推進フォーラム」（3R推進団体連絡会、8月9日）
- ・「2018 建設リサイクル技術発表会・技術展示会」（建設副産物リサイクル広報推進会議、9月19日）
- ・「平成30年度建設副産物リサイクル広報用ポスター」（建設副産物リサイクル広報推進会議、9月19日）

<出展>

- ・平成30年度3R推進全国大会（環境省）（10月12日）

<共催>

- ・循環・3Rリレーセミナー（3R活動推進フォーラムとの共催）（2019年2月1日）

このセミナーにおける配付資料は、協議会ホームページで公開している。

(URL) <http://www.3r-suishinkyogikai.jp/seminar/joint/>

6) 3R推進協議会事業活動の広報強化

協議会の活動の認知度を更に高め、3Rの推進につなげるべく活動している。特に3R推進功労者等表彰は、全国の優れた活動を表彰し、その活動を広く紹介することで3Rの優良事例紹介となっているが、これらの活動を表彰するためには推薦による応募が不可欠である。

このため、以前から審査委員会では優れた活動の発掘（推薦応募の増加）について検討を行い、推薦募集の期間や内容の見直しを行ってきた。

2017年度の審査委員会において企画運営委員会に対して協力を求められ、企画運営委員会においても推薦機関や候補者が応募をしやすいするための検討を行っている。

また、表彰結果の広報では、文部科学省発行の「マナビィ・メールマガジン」に文部科学大臣賞受賞者の取組を紹介いただいた。他にも、協議会会員団体の機関誌などで表彰や受賞取組についてご紹介いただいた。

2017年度事業として行ったホームページのリニューアルの結果、2018年度は前年度に比べて、ホームページへのアクセスが増えていた。

また、リニューアルに際して「3Rについて」という3Rの活動例の紹介ページを新たに作成したが、このページへのアクセスが特に多かった。

決算報告

平成 30 年度 収支決算書

自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	4,370,000	4,450,000	80,000	新規加入 1 団体
2. 雑収入 (受取利息収入等)	0	40	40	
3. 前期繰越収支差額	3,522,000	3,522,436	436	
当期収入合計 (A)	7,892,000	7,972,476	80,476	
II 支出の部				
1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰事業の実施	3,500,000	3,401,183	△ 98,817	表彰式会場費、委員会関係費、推薦要領・表彰結果冊子印刷費・発送費、表彰状作成費等
2. 3R キャンペーンマークの普及	50,000	35,964	△ 14,036	3 R キャンペーンマークの紹介ちらしを印刷 (全市区町村に配付)
3. 企画運営委員会経費	0	0	0	交通費等は各委員又はその所属団体が負担。場所は経済産業省の会議室にて実施
4. 3R 推進事業費	1,000,000	825,605	△ 174,395	サーバーレンタル費、ドメイン名使用料、事例発表会講演者の謝金・交通費、3 R 推進ポスター (作品募集、印刷、賞金)、3 R 全国大会出展、3 R 活動推進フォーラムとの共催イベント (会場費、謝金、印刷費等)
5. その他経費	50,000	26,784	△ 23,216	総会・理事会開催費用
6. 事務局経費	0	0	0	上記 1~5 に係る事務局経費 (人件費及び事務局運営諸費用)。 実際に発生した事務局経費は、協議の結果、産業環境管理協会が負担
7. 管理費	150,000	151,578	1,578	通信費、消耗品購入費、封筒印刷費、振込手数料等 (直接事務に係る費用のみ。事務局運営諸費用を除く)
当期支出合計 (B)	4,750,000	4,441,114	△ 308,886	
当期収支差額 (A) - (B)	3,142,000	3,531,362	389,362	

正味財産増減計算書
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額
I 増 加 の 部	
当期経常収益	4,450,040
増 加 額 合 計	4,450,040
II 減 少 の 部	
当期経常費用	4,441,114
減 少 額 合 計	4,441,114
当期正味財産増減額	8,926
前期繰越正味財産額	3,522,436
期末正味財産合計額	3,531,362

貸 借 対 照 表
平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
現金	46,462	未払金等	28,227
普通預金	3,182,748		
前払費用等	330,379	III 正味財産の部	3,531,362
合 計	3,559,589	合 計	3,559,589

財 産 目 録
平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
I 資 産 の 部	
現金 現金手許残高	46,462
普通預金 三菱UFJ銀行本店	3,182,748
前払費用	330,379
資 産 合 計	3,559,589
II 負 債 の 部	
未払金など	28,227
負 債 合 計	28,227
正 味 財 産	3,531,362

計算書類に対する注記（平成 30 年度）

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金、預金、前払費用及び未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は 2. に記載のとおりである。”

(2) 消費税は、税込方式を採用している。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	83,162	46,462
普 通 預 金	3,202,495	3,182,748
前 払 費 用	267,136	330,379
(合 計)	3,552,793	3,559,589
未 払 金	30,357	28,227
(合 計)	30,357	28,227
次期繰越収支差額	3,522,436	3,531,362